

この點幼稚園保姆の美しい限りである。

年齢の少い二三歳の幼児たちは一人一人に保姆がついてゐても尙手がまはりきれない様な感じのするのであるから保育園では保姆さん方は仕事のしまれない程盛澤山の中におかれてゐるわけである。

保育園の保育も幼稚園の保育も同じ年齢の幼児一人一人に對する保育については變りやうのあるわけはない事は勿論であるがその環境同年齡の數及び幼児數、保育時數などの異なるに従つて保育案にも自らその編成に特長があらはれて來るものである。

保育園の見學を終へて歸りながら、幼稚園と保育園について兩

## 小林登志女史を悼む

倉橋惣三

故兩國幼稚園長小林登志女史長逝、四月十七日、兩國幼稚園に於て盛んなる御葬儀が行はれた。園關係理事者諸君、母の會の方々と共に、園出身者及び園児達の燒香。誠に故女史の生前の溫容を偲ぶの思ひがした。高齡を以て最後まで幼児の間にその貴い職を楽しみつけられた幸福が、女史の健康の賜であつたことは素よりであるが、更に、一切を幼稚園に捧げつくして他意なかつた純乎たる生活上、あの、わだかまりなく、つくりかざりなく、求むるところない純乎たる性格の爲であつたことを見のがせない。安政四年十月十四日、東京市淺草區三筋町に生れ、明治十三年七月十日、東京女子師範學校幼稚園保姆練習科を卒業、幼

者をしみんく考へさせられる點が多々あつたが特に幼稚園の保育の物たりなきを痛感させられた。このものたりなきを何をもつて補はなければならぬかと云ふ事をさらにさらに考へさせられた。

保育園の見學の間に隣接せる補導所の諸施設も拜見出來た。各教室の完備した中に和裁其他の授業に精進されるお母さん方のお姿も實にたのもしく感ぜられた。

尙こ、より二丁程隔つた幼児たちの家、戸山寮にも伺つた。保育園ならびに補導所の實際を見學するにつけても、聖恩の鴻大なる事を感謝しつゝ自ら鞭つとどころがあつた。

幼稚園の數の少なかつた當時として、群馬縣師範學校教師、つゞいて東京市靱繪小學校訓導をつこめられたが、明治十三年十一月十三日には大阪東區船場幼稚園保姆になられた。東京の公立本所江東幼稚園の主任保姆になられたのは明治四十一年一月三十日であり、それから後、大震災で同園が燒失したまゝ廢園となり、女史の熱意と努力によつて創設せられた、その後身といつてもよい私立兩國幼稚園長となり、八十七歳その職のまゝ長逝せられるまで、實に長くも傍目をふられない幼稚園人であつた。茲に女史に對する平素の敬意を禁じ難き哀悼の心を捧げる。